

私はテルモの競争優位性が持続性を持つということを本レポートから読み取ることができると感じた。その理由はテルモが本レポートで大々的に取り上げている新5カ年成長戦略「GS26」の存在である。この戦略は近頃の医療のパラダイムシフトを意識したものであり、製品を提供することに加え、医療業界の環境の改善にも注力することで、患者だけではなく、医療従事者の負担を軽減することを可能にしている。高齢化社会を迎えるにあたって、医療の発達も相まって治療の長期化が予想される。そのような状況下でテルモが取り組む医療従事者の負担軽減はとても重要なものであり、人口の高齢化が深刻化すればするほどテルモの提供する製品・ソリューションの需要は高まっていくと考えられる。このことより、本レポートからテルモの競争優位性が持続性を持つことが読み取れると考える。

3. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

私はテルモで自身の人的資本の価値向上を達成することができると思う。本レポートの中で「GS26」に伴って人材の可能性の最大化にも注力すると発表している。具体的な取り組みとしては、トップマネジメントチームでの議論などを行う「グローバル人材研修」である。テルモはM&Aによって多くの組織が加わっていることもあり、多様な能力を持った人材が集っている。そのような環境に身を置くことにより、多様な意見や経験を重ね、社会的な問題に対し、広い視野を持って解決策を模索するという能力を身につけることができるのではないかと考える。そのような能力は、これからますますグローバル化が進行すると予想される日本経済において非常に重宝されるものであり、そのような能力を身につけることが自身の人的資本の価値向上につながると考える。

4. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

① 強みを分析する根拠が明確である点。

本レポートでは、テルモが展開するカンパニーの強みを、事業の機会・リスクなどの外部環境を提示した上で分析しており、非常に説得力のあるものとなっていた。また、機会・リスクを表の形式で提示しているため、その事業における機会や、企業の背負っているリスクを迅速に認識できる。

② 分割ダウンロードが可能である点。

「テルモレポート」を閲覧する人のほとんどはテルモへの投資を検討する投資家であるため、目次別で分割ダウンロードを可能にすることで投資家たちは投資を検討する際に必要な情報を効率的に収集することができる。